

# 草の根通信

Vol.81 (2014年12月8日発行)



帆船カリフォルニア号にて。右から万次郎5代目の中村文さん、6代目の明日香さん、ホイトフィールド船長6代目のスコット・ホイトフィールドさん、ペリー提督子孫のマシュー・ペリー博士

## P12 事務局だより

- ・高知日米協会が発足
- ・第5回ジョン万祭りと土佐清水市制60周年
- ・第4回「万次郎忌」に全国から33名が参加

## P12 協賛企業一覧

平成25年度寄附協賛企業一覧



特集

たくさんのご協力ありがとうございました  
第24回 サンディエゴ大会 開催報告

P03

大会スケジュール／参加者数／  
成田出発とサンディエゴ到着

P04

オープニング式典／歓迎レセプション／  
早朝セミナー／オプション・ローカルツアー

P06

テーマ別分科会／コロナド地域分科会／  
東北中学生の特別プログラム

P07

クロージング式典／ポスト・サミット・オプション・  
プログラム／支援企業・協力団体／  
サンディエゴ大会の主催団体

P08

参加者からの感想文

P10

協賛企業訪問シリーズ  
第四回 「豊田自動織機」



次の花を咲かせよう。

世界を舞台に多岐にわたる分野で、  
様々なビジネスを創造してきました。  
それでも、まだまだ成長過程。  
人のため、社会のために、  
まだ見ぬ花を咲かせていきたい。  
私たちはこれからも創造し続けます。

すべては、  
ひとつの思いから。

[www.mitsubishicorp.com](http://www.mitsubishicorp.com)

 三菱商事



第24回 日米草の根交流サミット

# サンディエゴ大会 開催報告

第24回 日米草の根交流サミット2014 サンディエゴ大会は、9月23日から30日まで、米国カリフォルニア州サンディエゴ郡にて開催されました。ジョン万次郎ホイットフィールド記念国際草の根交流センター(CIE)の役員や職員なども含めると日本から173名が大会のために渡米。そのうち141名がホームステイを含めた全プログラムへ参加しました。この大会には、岩手県普代村の普代神楽保存会の中学生と引率者24名、また福島県広野町の中学生3年生と引率者20名も、TOMODACHIイニシアチブ、東京倶楽部、日本航空、京セラ株式会社、トヨタ自動車からの助成金や寄付を受けて参加しました。

## 大会スケジュール

9/23(祝)	成田出発ーサンディエゴ国際空港着 オープニング式典(於:パドレス球場内講堂) 歓迎レセプションと野球観戦(於:パドレス球場ルーフトップ) ＜オムニ・サンディエゴホテル泊＞
9/24(水)	▼早朝セミナー ▼オプション・ローカル・ツアー(▼東北からの中学生は、ワークショップ、帆船での洋上プログラムなど) ＜オムニ・サンディエゴホテル泊＞
9/25(木)	▼テーマ別、または地域分科会 (▼東北からの中学生は、企業やカリフォルニア大学サンディエゴ校訪問などの特別プログラム) ＜ホームステイ＞
9/26(金)	▼テーマ別、または地域分科会 (▼東北からの中学生は、サン・デギート高校での授業参加、交流、パフォーマンス披露など) ＜ホームステイ＞
9/27(土)	▼ホスト・ファミリーと過ごす一日 ＜ホームステイ＞
9/28(日)	▼バルボア・パーク内 ジャパニーズ・フレンドシップ・ガーデン見学 ▼クロージング式典 (於:ジャパニーズ・フレンドシップ・ガーデン内) ▼フェアウェル・パーティー (於:ジャパニーズ・フレンドシップ・ガーデン内) ＜コナ・カイ・リゾート&スパ泊＞
9/29(月)	サンディエゴ国際空港出発 *または、オプションプログラムで各地へ移動
9/30(火)	成田着

## 大会参加者数

**参加者総数 約1,000名**  
(ホストファミリー、ボランティア、イベント参加者、スポンサーなどを含む)

**日本からの参加者:173名**  
(ホームステイを含む全プログラムへの参加者は141名)

それぞれのイベントへの参加者:

- ①オープニング式典と歓迎レセプション (パドレス観戦) 200名
- ②ホストファミリー総数 (家族構成人員の総数) 250名
- ③クロージング式典とフェアウェル・パーティー 上記①と②に含まれる
- ④ボランティア、イベント参加者、スポンサー、分科会への参加者など 550名

## 成田空港出発と、サンディエゴ空港到着 (9月23日)

全国各地から集まった参加者達は、9月23日午後後に成田を出発。初めての海外体験をする東北から参加した中学生達は、緊張の面持ちで飛行機に搭乗。約10時間のフライトの後サンディエゴに到着すると、大きなバナーを掲げたサンディエゴ・ティアファナ日本協会の職員に歓迎され、笑顔が戻ってきました。



機内での軽食

成田空港で打ち合わせ。まだ緊張しています。

# 特集 サンディエゴ大会 開催報告

9月23日

## ★ オープニング式典

大会のオープニング式典は、到着当日、サンディエゴのダウンタウンにあるMLBパドレスの球場「ペトコ・パーク」内の講堂で開催されました。



在サンディエゴ名誉総領事ケイト・レナード氏

サンディエゴ郡スーパーバイザーロン・ロバーツ氏

米日カウンシル副理事長スザンヌ・バサラ氏

船長6代目スコット・ホイットフィールド氏



万次郎5代目と6代目中村文氏 & 明日香氏



船長6代目と万次郎6代目による「地球儀の交換」



福島県広野町から参加した広野中学校3年生によるプレゼンテーションと合唱



岩手県普代村から参加した普代神楽保存会の中学生による「七頭舞(ななずまい)」

## ★ 歓迎レセプション

オープニング式典の後は、ペトコ・パークのルーフトップ(屋上)で、パドレス対ロッキーズの野球を観戦しながら、歓迎レセプションが開催されました。試合の前には、ホイットフィールド船長、万次郎、ペリー提督の子孫ら4名がフィールドで紹介され、その後、普代神楽保存会の中学生が「七頭舞」を青芝の上で披露。球場内の大きなスクリーンにも映し出されました。また、広野中学3年の土屋昌君が始球式を務め、その好投ぶりに大きな拍手が湧きました。



試合前のフィールドで「七頭舞」を披露する普代神楽保存会の中学生達



広野中学3年の土屋昌君による始球式



コロナド市長ケイシー・タナカ氏による乾杯



9月24日

## ★ 早朝セミナーとオプション・ローカル・ツアー

大会2日目の朝8時から、ホテルの向かい側に建つサンディエゴ・コンベンション・センターの一室で早朝セミナーを開催しました。セミナーの後は、参加者は4つのオプション・ローカル・ツアーを楽しみました。



サンディエゴ歴史協会のスーザン・ハセガワ氏による「サンディエゴの日系アメリカ人の歴史」



元京セラ幹部の中野昌彦氏による「サンディエゴのビジネス」



サンディエゴ観光親善大使の上野浩氏による「サンディエゴのツーリズム」



シー・ワールド



サンディエゴ動物園



ハーバー・クルーズ



USSミッドウェイ博物館

最近、地球って小さくなった？

# ANA HANEDA

## 世界10都市大增便!

ANAの羽田国際線がついに世界10都市大增便! 羽田から海外、がいよいよ常識になってきました。行きも近い、帰りも近い。これは快適としか言いようがありません。日本のために、あなたのビジネスのために、羽田の国際化、どんどん進みます。

【新規就航都市】	バンクーバー / ハノイ	【アジア】	マニラ / ジャカルタ / バンコク / シンガポール
【ヨーロッパ】	パリ / フランクフルト / ミュンヘン / ロンドン	いよいよ3月30日から	

ANA  Inspiration of JAPAN | A STAR ALLIANCE MEMBER 

最高評価「5スター」を2年連続で獲得。  
ANAは日本で唯一の5スターエアラインです。



# 特集 サンディエゴ大会 開催報告

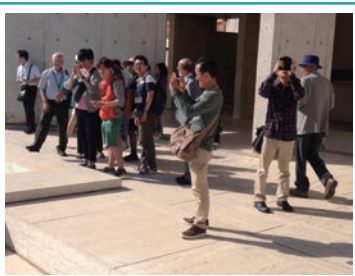
**9月25日～28日**

## ★ テーマ別分科会、コロナド地域分科会、東北中学生向け特別プログラム

9月25日からは3泊4日のホームステイ。一般の参加者達は、最初の2日間は6つのテーマ別の分科会と、コロナド市での地域分科会に別れて、充実の体験をしました。岩手県普代村と福島県広野町から参加した中学生達は、ワークショップや帆船「カリフォルニア号」での洋上プログラム、企業訪問、大学や高校での交流やパフォーマンス披露などの特別プログラムに参加しました。



T-1 バルボア・パーク分科会



T-2 ビジネス分科会



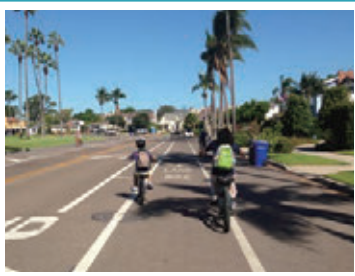
T-3 料理とお酒分科会



T-4 歴史分科会



T-5 ミリタリー分科会



T-6 自然満喫分科会



L-1 コロナド地域分科会



普代村と広野町の中学生向けの特別プログラム(分科会)

# 特集 サンディエゴ大会 開催報告

9月28日

## ★ クロージング式典とフェアウェル・パーティー

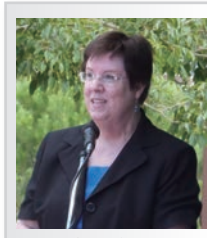
3泊4日のホームステイと分科会の後、参加者はバルボア・パーク内のジャパニーズ・フレンドシップ・ガーデンにホストファミリーとともに集合。大会の最後を締めくくるクロージング式典とその後のフェアウェル・パーティーに参加しました。



式典の幕を開けたサンディエゴ太鼓



在ロサンゼルス日本総領事 堀之内秀久氏



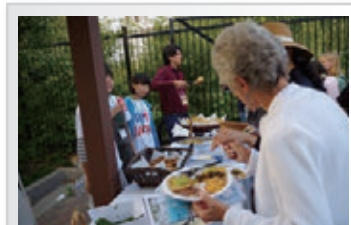
在サンディエゴ名誉総領事 ケイト・レナード氏



広野中学3年生による合唱



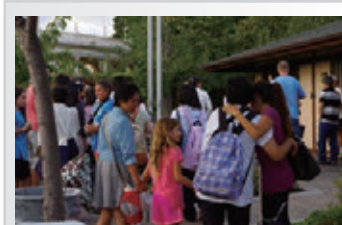
普代神楽保存会の中学生による七頭舞



メキシコ料理でお別れパーティー



メキシコ料理でお別れパーティー



手をつなぎ、ホストファミリーと抱擁

## ポスト・サミット・オプショナル・プログラム



北カリフォルニアのバレホ

サンディエゴ大会の後は、さらに3つのオプショナル・プログラムを準備。それぞれの地域で、さらにホームステイを通じて友情の絆を結びました。

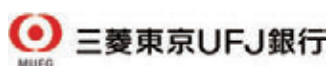


コロラド・スプリングス



フェアヘイブンとボストン

## サンディエゴ大会をご支援いただいた企業・団体



協力団体：ロサンゼルス総領事館／サンディエゴ・パドレス／ジャパニーズ・フレンドシップ・ガーデン

主催：ジョン万次郎ホイットフィールド記念国際草の根交流センター (CIE)／CIE-US／サンディエゴ・ティファナ日本協会

## サンディエゴ大会に参加した中学生から届いた感想文

サンディエゴ大会には、TOMODACHIイニシアチブや東京倶楽部からの助成金、また複数の企業からのご寄付で、岩手県普代村の神楽保存会の中学生メンバー、また福島県広野町の広野中学校3年生を招待することができました。若い彼らは、約1週間の大会中に、さまざまなことを吸収したようです。

## 普代中学校・神楽保存会メンバーから

## 3年 道上夢子

七頭舞は、様々な場所で披露することができました。野球場では今までにないくらい広い場所で、どのくらいの範囲で舞ったらいいのかも分からず、不安だらけでした。しかし、いつもの舞か、それ以上の舞になったと思います。舞い終わった後、日本とは異なった感じの拍手や歓声をいただき、とてもうれしかったのを覚えています。

ホームステイでは、ホストファミリーと初めて出会ったとき、英語も話せずはどうやってコミュニケーションを図ったらよいか心配でした。しかし、ホストファミリーのカレンさんが温かく迎え入れてくれ、また分かりやすいように話しかけてくれて、カレンさんの家にホームステイできたことが本当にありがたく思います。

## 2年 太田美里

サミットで一番楽しかったのはホームステイでした。ホームステイをする前は、「英語でちゃんと自分の意思表示ができるか」や文化の違いでの不安と、「早くホストファミリーと会って英語の授業で習った文や自分が知っている英文をうまく活用した会話がしたい!!!」という気持ちでいっぱいでした。実際にホストファミリーと外食に行き、席に着いた時に会話しましたが、英語の授業で出てきた文があり、会話のできたのでごくうれしかったです。

最後の日のクロージング式典が終わり、ホテルへ移動している車の中で泣いていたら、ホストファミリーが肩をポンポンとしてくれました。「もう帰りたくない」とすごく思いました。また必ずアメリカに行きたいという気持ちが強くなり、これからの進路に変化がありそうです。

## 1年 中村泉

私は、このサミット大会で、たくさんのことを学びましたが、その中でも、心に残っていることが二つあります。

1つ目は、自分で考えて行動する事です。初めて行く所は分からない事ばかりで正直不安でした。その中でも、先生は私たちと居られない時間が出てきます。その時、3年生が中心として声をかけてくださり、1週間の間に自分で考えて行動することが出来るようになったと思います。

2つ目は初めて会う人たちとの交流です。ホストファミリーの方々は、とても優しく話しかけてくれ、家族の一員のように接していただきました。私たちのリクエストにも応えてくれ、とても楽しく充実したホームステイになりました。広野町の人たちとは、人見知りでも友達になりたくても話せないでいたら、あっちから話しかけてくれたのでとてもうれしかったです。またお会いすることができればと思っています。





## 広野中学校3年生の感想文(一部抜粋)



### 3年 石田大地

アメリカの方は陽気でおおらか、というイメージがありました。実際に現地の方に会って話してみると、想像以上にフレンドリーでそして親切な方が多かったです。特に凄いと思ったのが、日本語を話せなくても力になろうとしてくれる方がたくさんいたことです。

日本で外国の方が困っているときにすぐ力になってあげられる人は少ないと思います。ですが、アメリカの方は積極的な方が多く表情などを見て言葉が通じなくても助けようと努力してくれる方がほとんどです。学ばなければいけないところだと思いました。

日本人の中には、外国人と聞くだけで、話すのをためらい避けてしまう人も多いはずですが、僕もそうでした。今回の大会に参加しなければ、僕はこの先も変わらずそうしていたと思います。

### 3年 渡邊金四朗

サンディエゴに行って一番に興味を持ったのはエネルギーに関してです。

カリフォルニア州の再生可能エネルギーにおいて主力となっているのは風力発電です。

大きな理由としては海に面している範囲がとても広いということにあります。海風は風力発電においてとても重要なものです。ですから、州北部には多くの風力発電装置が設置されています。最近、注目され始めているのが地熱発電と波力発電です。カリフォルニア州は環太平洋造山帯が地表に出ている珍しい場所です。そこは地下の動きが活発で、地熱発電に向けた土地だといえます。先でも述べましたが、カリフォルニア州には余らばかりの海があります。そのため、波力発電に適しています。

気候が全く違っても、日本とカリフォルニア州のエネルギー問題には類似点が数多くありました。

### 3年 日下雄太

このサミットを通して、文化の違いというものを感しました。

まずは、交通の面からです。日本では、大きな事故や自然災害がない限り、電車のダイヤが遅れることはそう多くありません。しかし、サンディエゴでは、市民の足ともいえる『トロリー』が、到着が予告もなく10分も遅れたり、時間にルーズでした。現地のドライバーさんは、歩行者に優しいと感じました。ショッピングモールの駐車場や、住宅街などの横断歩道がない道を渡るとき、ほぼ確実に、止まってくれました。びっくりすると同時に、優しさに感動しました。

続いて、国民性の違いです。動物園で、どこのブースを回ろうか迷っていたときに、子連れの方が声をかけてくださり、「ヒョウはその道をあがっていくのよ!!」と教えてくれました。サンディエゴの方は、積極的に、そしてフレンドリーに接してくださいました。

外国の文化に触れ、自分の視野を広げることができました。この経験は必ず将来に生きてくると思います。

## 協賛企業訪問シリーズ 第4回「豊田自動織機」

協賛企業訪問シリーズ



## 第4回「豊田自動織機」

協賛企業訪問の第4回目は、株式会社豊田自動織機です。

豊田佐吉の自動織機発明については、小学校の教科書で学んだ方々も多いのではないのでしょうか。同社は社祖豊田佐吉がその発明に生涯をかけた無停止杼換式豊田自動織機（G型）を製造・販売等するために設立されました。その後、自動車関連事業、フォークリフトを中心とする産業車両事業、そして物流事業へと事業領域を拡大し今日に至っています。これらのうちカーエアコン用コンプレッサー、フォークリフトそしてエアジェット織機の3つの分野は世界トップクラスのシェアを誇っています。今回は、愛知県刈谷市の同社本社をお訪ねし、豊田佐吉の時代から現代までに受け継がれる同社の精神と社風、また社会貢献などについてお話を伺いました。お話をくださったのは、総務部部长・近藤哲夫さん、総務部社会貢献推進室資料管理グループ係長・田路勝宏さん、社会貢献グループ係長・佐々木麻美さんです。



豊田佐吉の胸像の前に立つ  
田路勝宏さん(左)と佐々木麻美さん

## 「社祖」豊田佐吉



我が社の「社祖」である豊田佐吉が生まれたのは江戸末期、慶応3年のことです。現在の静岡県湖西市で誕生し、小学校を卒業してからは父に付いて大工の修行をしていました。しかし、18歳になった明治18年に「専売特許条例」ができたことを知り、佐吉は「発明」を志すようになります。その5年後の明治23年には、それまで使われていたボタン高機を改良した「豊田式木製人力織機」を発明して特許出願し、翌年には佐吉最初の特許を取得しました。

しかし、この織機は市場ではまだまだ魅力がないものでした。というのは、ボタン高機は、「ボタン」と呼ばれる器具を織機に取り付けられれば良い簡単な構造でしたが、佐吉が発明した織機は、4、5割も生産能力が上がるとはいえ、資力がない人々には受け入れられなかったのです。

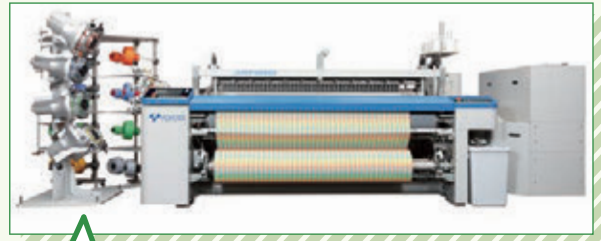
そこで佐吉は、人力ではなく、動力を用いてさらに回転を倍加させ性能を上げる織機の発明に取り組みます。そうしてできたのが、国産初の動力織機である「豊田式汽力織機（木鉄混製動力織機）」です。明治29年のことでした。これは、木と鉄の混製による織機ですが、木を用いたのは製品をより安価にするためでした。その後も、より効率よく、より品質を向上させる織機の発明に専念し、明治36年には機械を止めずによこ糸を入れていく「自働杼換装置」を発明しました。明治38年には、この装置を取り付けた自動織機と、当時の世界の織機トップメーカーであるイギリスのプラット社などとの性能比較試験が行われますが、その製作と試験を他人任せにしていたために良い結果が得られませんでした。この時の反省から「創造的なものは完全なる営業的試験を行うにあらざれば、発明の真価を世に問うべからず」という信念が強いものになりました。

また、明治43年に欧米を視察した際、ニューヨーク在住の高峰讓吉博士と面会し、博士から「発明を完成するには、社会的に使用せしめて大丈夫であるという見込みのつくまで、発明家は発明品から離れてはいけぬ」旨の話を聞き、一層その信念は強固なものとなると同時に、我が社の社是「豊田綱領」にある産業報国の精神、つまり「自分の仕事を誠実に果たし、職務を通じて社会に貢献する」という我が社の基礎ができあがっていきました。

## 協賛企業訪問シリーズ 第4回「豊田自動織機」

欧米視察の後、発明の足場を築くために、「豊田自動織布工場」が創設されたのは、明治44年のことです。今はその地には「トヨタ産業技術記念館」が建っています。当時、佐吉は従業員と寝食をともにしながら、織布業と自動織機の研究・試験を行いました。今でいう生産とR&Dの拠点です。

大正7年には、織布工場から発展していた「豊田自動紡織工場」を改組して、「豊田紡織株式会社」を設立。3年後には、中国にも株式会社を設立し、現地での雇用・相互利益をはかるといふ、経済交流による国民外交も始めました。大正12年には、ここ刈谷に試験工場が完成、翌13年には完全な自動織機「無停止杼換式豊田自動織機」、いわゆる「G型」が完成しました。



販売シェア世界一位を10年以上守り続けるエアジェット織機。

### 温情友愛の社風

社是「豊田綱領」には、「温情友愛ノ精神ヲ發揮シ家庭的美風ヲ作興スベシ」という一文があります。社風は、次第に形成されていくものですが、家族的な温情友愛の精神、研究と創造、質実剛健といったような社風は、佐吉と、佐吉の精神を受け継いだ人々から脈々と受け継がれてきたものです。創業当時は従業員に5、6坪の土地を与えて畑にさせ、家族円満な余暇を過ごせるようにしていましたし、社宅、寄宿舎、売店など福利厚生制度の充実、野球部をはじめとしたスポーツ活動の奨励、養成工制度などの人材教育にも力を入れてきました。また、研究と創造を奨励し、人材尊重・能力主義であるところも、佐吉の時代から引き継がれてきたものです。これらの柱となっているのが労使協調の精神です。

### 社会貢献

我が社の「基本理念」のひとつは「社会貢献」ですが、質の高い製品を作る、雇用を創出するといった事業活動はもとより、事業以外での貢献活動にも積極的に取り組んでいます。先に述べた「家族的な温情友愛を大切にする社風」に沿いながら、当社の工場がある地域において、社会福祉、青少年育成、環境保護の3分野を中心とした様々な活動を幅広く行っています。2011年秋に掲げられた当社の「2020年ビジョン」では、「私たちは企業活動を通して、温かい社会づくりに貢献しよう」と謳っています。「温かい社会をつくるには、まず温かい会社をつくらなければいけない」、そして温かい会社をつくる担い手はもちろん社員一人ひとりです。社員の皆さんがより良い社会づくりへの関心を高め、ボランティア活動等に主体的に取り組んでもらえるような風土づくりにも努めています。活動への参加を通して、社内だけでは得ることのできない体験や新たな価値観に触れ、その貴重な経験をぜひ仕事にも活かして欲しいと願っています。



今年20回目を迎えた「福祉ふれあいフェスティバル」。200名あまりの福祉施設の皆さんと、多くの社員ボランティアと一緒に楽しむふれあいイベント。



「ふれあい潮干狩り」には福祉施設の皆さん約200人を招待。「技能専修学園」の学園生も参加し、運営をサポート。



「ちょこっとボランティア」を合言葉に、誰もが気軽に参加できる募金活動を実施。グループ会社66社との協業により集まったお金を東北被災地へ寄付。



小学校5年生を対象に環境教育プログラムを実施。工場見学や出前授業では、環境に配慮したものづくりについてクイズや実験を交えて楽しく紹介。

事務局だより

日米草の根交流サミット・サンディエゴ大会は9月末に開催しましたが、その後も10月から11月にかけて、他の万次郎関連団体によるイベントが高知、東京で開催されました。

高知日米協会が発足

10月24日、高知市内で「高知日米協会」が発足し、その設立総会が開催されました。日本で28番目の日米協会ですが、四国では第一号。総会では、高知の尾崎正直県知事、大阪のグリーンバグ米国総領事らに加え、「ホイットフィールド万次郎友好記念館」協力の会の理事長で聖路加国際病院名誉院長でもある103歳の日野原重明氏が祝辞を述べました。高知日米協会の理事長は高知県商工会議所連合会の青木章泰氏で、事務局は土佐ジョン万会が担当します。



高知日米協会設立総会で挨拶をする聖路加国際病院の日野原重明氏

第5回ジョン万祭りと土佐清水市制60周年

10月25日には、万次郎の故郷、高知県土佐清水市の姉妹都市交流イベント、第5回ジョン万祭りが開催されました。姉妹都市のフェアヘイブンからもゲストが参加。会場となったジョン万次郎資料館前には「にっぽん丸」も寄港し賑やかに催されました。また、今年が土佐清水市制60周年という節目の年で、夕刻からは尾崎県知事、万次郎が米国から帰国時に上陸した沖縄県豊見城市長の宜保晴毅市長らも交えて、レセプションが盛大に催されました。



寄港した「にっぽん丸」



土佐清水市制施行60周年と、ジョン万祭りの交流レセプションでの鏡開き

第4回「万次郎忌」に全国から33名が参加

万次郎の命日である11月12日直前の日曜日11月9日には、東京のジョン万・江東の会主催で「万次郎忌」が開催され、山形、秋田、東京、大阪、高知、沖縄などの各地から33名が参加しました。万次郎の終焉の地には、今では「ミキモト・ブティック」（中央区銀座2丁目）が建っていることから、雑司が谷で墓参をした後には「ミキモト・ブティック」7階のレストラン「WAZA」でランチをいただき万次郎に関する情報を交換しました。



雑司が谷の万次郎の墓での集合写真

平成25年度寄附協賛企業一覧 (50音順)



イオン株式会社



NTTコミュニケーションズ株式会社



キッコーマン株式会社



株式会社ジェイテクト



全日本空輸株式会社



ダイキン工業株式会社



株式会社大庄



株式会社デンソー



トヨタ自動車株式会社



株式会社豊田自動織機



豊田通商株式会社



株式会社永谷園



株式会社ニフコ



日本郵船株式会社



日野自動車株式会社



三井住友海上火災保険株式会社



三菱商事株式会社



三菱食品株式会社



明治安田生命保険相互会社

アイシン精機株式会社／愛知製鋼株式会社／アサヒグループホールディングス株式会社／東京海上日動火災保険株式会社  
豊田合成株式会社／トヨタファイナンシャルサービス株式会社／トヨタ紡織株式会社／パナソニック株式会社／矢崎総業株式会社